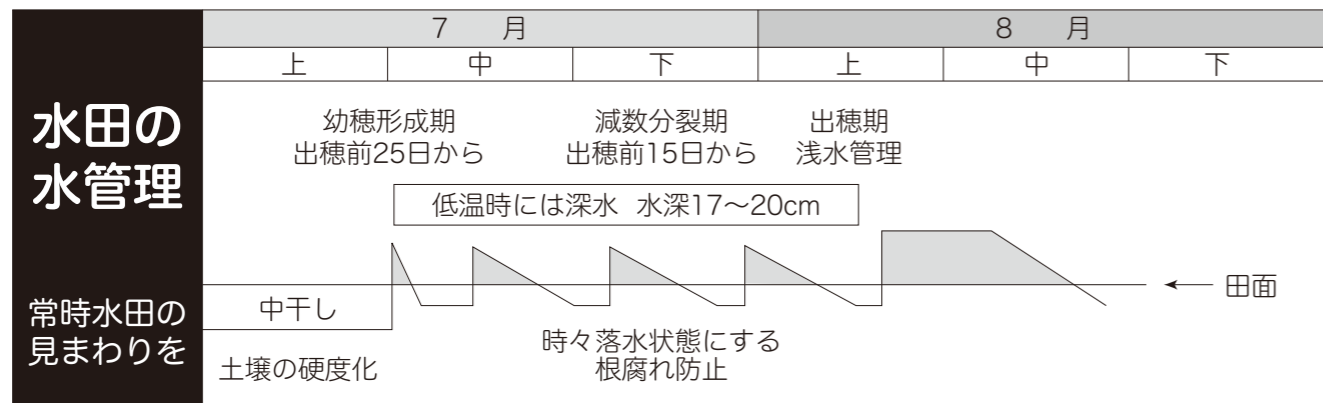


幼穂形成期～減数分裂期に入ります。(草刈作業は7月下旬までに!!)

管内の水稻生育状況は、気温が平年より高く推移していることから、稲の生育は平年に比べて2～3日早まっております。ほ場整備1年目の水田は生育のムラが多く見られますので、部分的に追肥を行いましょう。また、7月中旬より低温に弱い「幼穂形成期」から「減数分裂期」に入りますので、低温が予想される場合は、出来る限りの深水管理を実施してください。尚、斑点米カメムシ類の対策として、水田畦畔周辺の草刈りは7月中に終わるよう努めてください。

◎水田の水管理と生育ステージについて



◎倒伏軽減剤の散布時期です!!

ほ場整備や復元田で、稲の生育旺盛な圃場では倒伏する場合がありますので、倒伏軽減剤の散布を検討して下さい。

主な倒伏軽減剤	使用時期	10アール当り	使用方法
スマレクト粒剤	出穂7日～20日前 (節間短縮による倒伏軽減)	2～3kg	湛水散布
ビビフル粉剤DL	出穂10日～5日前 (節間短縮による倒伏軽減)	3～4kg	散布

※使用量、使用時期を厳守し多量散布、重複散布に気をつけて下さい。

※「環境保全米」を栽培している生産者は、散布できませんのでご注意願います。

◎穂いもち病の防除について

稲の葉色が濃い水田や毎年いもち病の発生が見られる水田は、出穂前に予防散布して下さい。

《穂いもち病の防除薬剤》 ※いずれか1剤を散布する。(出穂10日前頃)

- ・コラトップ1キロ粒剤12 1～1.5kg/10a
- ・コラトップジャンボ 小包装10～13個/10a (500～650g)

注意
 ※環境保全米栽培は、コラトップ剤を使用できませんのでご注意して下さい。

◎斑点米カメムシの防除について(別紙の防除協議会のチラシ参照)

◎稲こうじ病・紋枯れ病等は出穂前の日数を確認して散布しましょう!!

防除農薬	適用病害	使用基準	10a当り使用量	使用時期
撒粉ボルドー粉剤DL	稲こうじ病	出穂10日前まで	3～4kg	〈散布目安〉 7月20日頃まで

※「環境保全米」を栽培している生産者は、撒粉ボルドー粉剤DLを使用できます。

◎追肥について

〈幼穂形成期及び減数分裂期の葉色の目安及び追肥の目安〉

品 種 名	幼穂形成期(7月15日頃～)	施 用 量 10a当たり 窒素成分	減数分裂期(7月25日頃～)	施 用 量 10a当たり 窒素成分
	葉 色 葉緑素計値		葉 色 葉緑素計値	
ひとめぼれ	37～39未満	1.0kg	N35～37未満	1.0kg
ササニシキ、コシヒカリ	—	—	N32～34未満	1.0～1.5kg
まなむすめ	35～37未満	2.0kg	—	—

◎葉色の淡い圃場、ムラになった圃場では穂肥の施用を!!

基肥を減肥している圃場は、肥料の肥効が低下してきております。圃場整備1年目などはムラになった圃場が見受けられますので追肥を早めに実施して下さい。

＜追肥の効果＞

減数分裂期の追肥は…穂の粒数減少防止、千粒重の増加に効果があります。『7月中～下旬頃』

- ・通常栽培の場合は、出穂前10日～15日前頃が目安です。
ひとめぼれ→窒素成分で「1kg」
ササニシキ→窒素成分で「1～1.5kg」

肥 料 は … 速効性の効果がある『NK化成C68号』等を使用する。現物量6kg＝化学窒素成分約1kg。

※環境保全米栽培は、基肥の化学窒素施用量を必ず確認してから追肥を実施すること。

〈例〉基肥 まーくん有機209

40kg＝化学窒素施用量が「2.4kg」となりますので、追肥の化学窒素量は「1kg」以下であれば施用できます。(NK化成C68号であれば現物量5kg以下)

※JAでは葉色診断の希望があれば圃場で診断を行いますのでご連絡下さい。

《平成27年産『環境保全米』展示圃場生育状況》

調査日 平成27年7月7日

圃場所在地	面積	品種	基肥(10a当たりの肥料成分)						田植日	草丈(cm)		㎡当たり茎数		葉色
			肥料名	施用量	N	化学成分	P	K		本年	26年参考	本年	26年参考	
閑上(除塩)	牛野 宇松浦 35a	ひとめぼれ	有機一発209	40kg	4.8	2.4	4.0	3.6	5月18日	53.2	65.7	349.4	515.5	42.7
下増田	大谷地 30a	東北194号	有機一発209	30kg	3.6	1.8	3.0	2.7	5月7日	51.4	—	371.2	—	39.4
館腰	植松 宇宮下 30a	つや姫	まーくん有機209	45kg	5.4	2.7	4.5	4.1	5月20日	63.5	—	528.7	—	41.4
愛島	北目 宇田小屋 100a	つや姫	らくだ君有機一発499	40kg	5.6	3.3	3.6	3.6	5月24日	52.9	—	363.8	—	41.1
玉浦(除塩)	寺島 宇瀬崎 70a	ひとめぼれ	らくだ君有機一発499	40kg	5.6	3.3	3.6	3.6	5月15日	47.7	—	270.2	—	41.7
東北194号については、追肥時期。全体的には茎数がやや少なめで生育している。						県内全体平均ひとめぼれ(7/1)				<u>52.2</u>	—	<u>537</u>	—	<u>40.8</u>

平成27年産「JA米」栽培履歴記録簿記帳確認会日程表

平成27年8月3日～8日(5日間と予備日)

支店	開催日	開催地区	人数	会場	時間	参集範囲・実行組合名
美田園 1会場	8月3日	閑上地区	35名	美田園支店	18:00～19:30	管内全域
	8月4日	下増田地区	39名	美田園支店		管内全域
館腰 4会場	8月3日	植松北	28名	館腰支店	18:00～19:30	植松10、9、8、7、6、5
	8月4日	飯野坂	23名	飯野坂集会所		北、松原1、2、中1、2、南1、2、谷津山
	8月5日	植松南、六軒	29名	館腰支店		植松4、3、2、1、六軒
	8月6日	堀内	37名	堀内集会所		鶴、中条、温南、南西、南東
名取西(愛島地区) 4会場	8月7日	本郷	42名	本郷集会所		町田、原、畑中、宿、矢口
	8月3日	北目地区	29名	北目北生活センター	18:00～19:30	北目原、切通、柳沢、北目北
	8月4日	塩手	25名	塩手集会所		塩手南、岩沢、滝沢、北野
	8月5日	小豆島	30名	小豆島集会所		周防崎、東根、小原、島、清水
8月7日	笠島	62名	愛島公民館	笠島南、上平、学市、蔵神、佐倍の久保、道祖神、泉、宮下、川内		
名取西(高館地区) 4会場	8月3日	吉田下	28名	名取西購買センター事務所	18:00～19:30	元中田、三条郷、高畑
	8月4日	吉田上、川上、樽水、箕輪	53名	名取西購買センター事務所		三日町、鳥井口、吸川、上町、川上1、2、3、樽水、箕輪1、2、高館その他
	8月5日	熊野堂	33名	飛鳥集会所		熊西、南、宿、十二神、
	8月6日	大中沢、余方、今成	23名	相互台公民館		余方上、余方下、大中沢、今成
増田 3会場	8月3日	上余田	34名	上余田公会堂	18:00～19:30	上余田南、中、北
	8月4日	町区、田高、手倉田	41名	増田支店		本町1、2、北町2、田高町、田高北・南
	8月5日	下余田南、村区	28名	増田集出荷センター		箱塚、諏訪、西部、東部
	8月6日	下余田北	45名	増田集出荷センター		浜田、老女、山神
千貫 4会場	8月3日	志賀	44名	志賀地区コミュニティC	18:00～19:30	志賀上、志賀中、志賀下
	8月4日	小川、長岡、三色吉	57名	千貫支店		小川、長岡、三色吉
	8月5日	北長谷	23名	千貫支店		北長谷北、北長谷南
	8月6日	玉崎、原	55名	玉崎公会堂		玉崎上、玉崎下、原
	8月7日	根方	23名	根方公会堂		根方北、根方南
玉浦 4会場	8月3日	下野郷上・下	25名	愛宕神社社務所	18:00～19:30	下野郷上、下
	8月4日	矢野目	43名	矢野目地区中央集会所		矢野目1、2、3
	8月5日	押分	23名	押分生活センター		押分
	8月6日	早股上、早股中、早股下、寺島地区、林、二野倉、他	42名	玉浦支店		早股上、早股中、早股下1、2、林、二野倉、寺島、蒲崎南、玉浦その他、新浜、長谷釜
全支店	8月8日	予備日		本店	9:00～11:00	全地区

※環境保全米栽培については、今回確認致しません。(但し、環境保全米栽培からJA米に変更した場合は、今回確認致します。)

「平成27年産JA米」栽培履歴記録簿の提出用を配布致しました!!

「生産者控え用」の記録簿内容を自己点検した上で、提出用の栽培履歴記録簿にボールペンで清書して下さい。不足する場合は必要に応じてコピーをして対応するようにお願いします。

尚、白紙のまま持参されても確認できませんので、必ず記入した記録簿を持参し確認を受けて下さい。

「JA米」栽培履歴記録簿の確認について

8月3日～8日まで「JA米」栽培記録簿の確認会を実施いたしますので、期間中に必ず確認を受けてください。
 ※予備日…8月8日(土) 午前9時～11時まで 本店2階 営農部
 ○確認を受けない場合は「JA米」から「一般米」扱いとなりますので留意下さい。

「出穂始期」→水田全体の約5%が出穂した頃。

「出穂期」→水田全体の約50%が出穂した頃。

「穂揃期」→水田のほぼ全体が出穂した頃。

※上記を参考にして、栽培履歴記録簿へ「出穂期」の月日を記入して下さい。